

北山城跡 第2次 (No.15)

4区で溝を多数検出！

4区では遺構の検出と掘削が急ピッチで進んでいます。調査区の南側では、溝が多数検出されました。調査区の南西部分（写真奥）は、粘土が厚く堆積しており、かつては沼のような状態であったことが分かりました。検出された溝のうち、幅2m以上ある最も太い溝（写真中央の白線で囲まれた黒い部分）は、沼の水ぎわから南東方向（写真手前）に向かって延びており、その先は調査区の外まで続いています。その太い溝からは、幅50cmほどの細い溝が数本分岐して、これも、南の方（写真左）の調査区外に延びています。溝の続く先には何が存在するのでしょうか、興味は尽きません。



「きーたん」について

前回、北山城跡発掘調査のイメージキャラクター「きーたん」をご紹介致しましたところ、「きーたん」について詳しく知りたいというご意見を多数頂きました。そこで、今回は特別に「きーたん」について詳しくお知らせいたします。

おサルのかどもです

北山城跡の発掘調査を行っているとき、時々、サル親子が山の中から現れて、作業員さんたちの心を和ませてくれました。そこで、サルをキャラクター化することにしました。

また、北山城は現在残る土塁や堀の構造から、戦国時代以降のお城である可能性が高いため、戦国時代に活躍した「足軽」をモチーフとしました。足軽装束のデザインは、戦国時代の記憶がまだ残る江戸時代初期に作られた『そうひょうものがたり雑兵物語』という史料の挿絵を参考にしています。なお、おなかの模様は「足軽胴」という鎧をデフォルメしたもので、おサルのおなかの様にも見えますが、れっきとした鎧ですからあなどらないでくださいね。

キャラクターを作ったねらい

北山城跡では10月13日に発掘調査の成果を一般の皆様方にも知っていただくために現地説明会を開きました。説明会にはたくさんの方に来て頂くことができたのですが、参加者の約7割が50歳以上の方であるという状況がありました（現地説明会のアンケート結果による）。また、小さいお子さんを連れて来ていただいた方からは、「子ども向けの対策も欲しい」というお声も頂きました。平素から、文化財の保護について、ご理解とご協力をお願いしている私たちは、未来を担う子どもたちにも、もっと遺跡に親しんでもらいたいと考え、自分たちでキャラクターを考えてデザインしました。



【問い合わせ先】

三重県埋蔵文化財センター 調査研究3課 四日市整理所
〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1
電話番号: 059-363-3195/ファックス: 059-363-3196
E-mail: maibun@pref.mie.jp
担当: 勝山孝文・矢田陽・宮原佑治